

原価管理の重要性と必要性を感じているが、大きな手間や資金をかけることに躊躇いを感じる方へ、**エクセルベースの原価管理ツール「Profit + (プロフィットプラス)」**を作成しました。
無料・登録不要! 是非、ダウンロードして原価管理の効果を実感してください。

Profit + の特徴

- **ロット別原価計算** —— 製造指図書ごと（ロット別）に記録した生産実績情報を入力することで、生産実態を反映したロット別原価計算が可能！
- **工程別原価計算** —— 変動費（原料費）と固定費（労務費+経費）を分離したまま複数工程の積み上げ原価計算が可能！
- **採算管理表作成** —— 売価と原価の比較が可能な採算管理シートもご用意！

Profit + を用いた原価管理への活用例

ロット間比較	同一製品のロット別実際原価を並べ、ロット間で比較	原価のバラツキの大きい製品を特定、ベストケースとワーストケースを分析し、改善に役立てる。
予実比較	同一製品の実際原価と標準原価を比較	実際と標準に大きな乖離がある場合、「標準原価の設定方法に問題がある」「製造上、いつも同じ問題が発生している」という原因が考えられる。
類似製品間比較	類似製品間で実際原価を比較	想定外の乖離がある場合、製造上の問題を分析したり、売価設定を見直したりする必要がある。
対売価比較（採算管理）	売価と原価を比較して粗利益・粗利率を計算	製品別・顧客別・事業別の粗利を算定して不採算製品や不採算事業を洗い出し、事業戦略や製品戦略検討の基礎情報とする。
月次推移で比較	月次推移比較や前年同月比較	時系列で全体的な傾向を見ることで改善状況を確認する。PDCAサイクルを回すためのキーになる分析である。

Profit + 取扱種別

フリーソフト

Profit + 動作環境

Microsoft office Excel 2007,2010,2013

対応環境以外での使用については、使用者の責任の下、行ってください。

Profit + インストール方法

(1) ファイルの解凍

ダウンロードした圧縮ファイルを任意の場所に解凍してください。

(2) インストール

前項(1)にて解凍されたフォルダ内に、Excelファイル（.xlsx）を格納しています。任意の場所に格納してから使用してください。

Profit + アンインストール方法

インストール時に解凍し、任意の場所に格納したフォルダを丸ごと削除するだけです。

Profit + 作者への連絡先

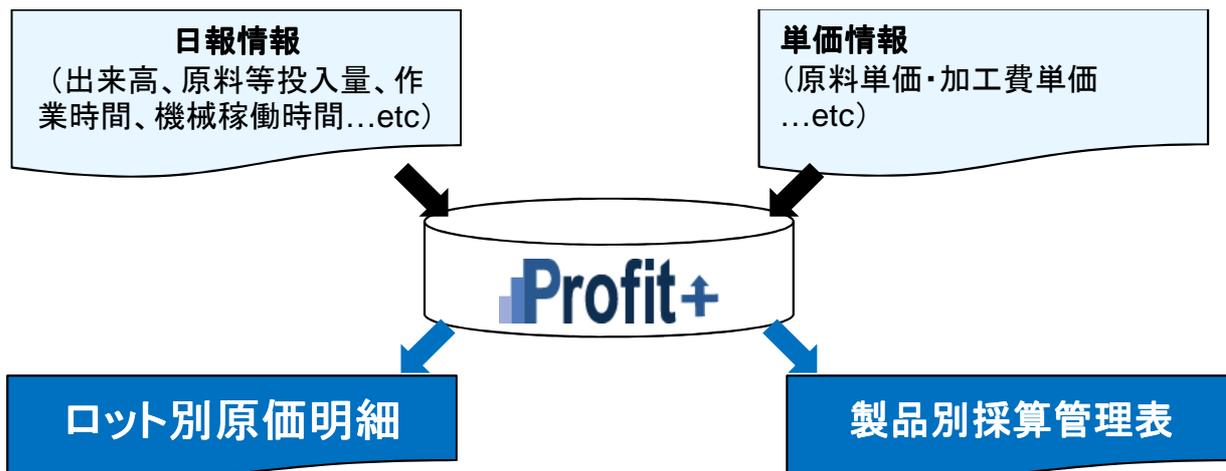
株式会社アットストリーム info@atstream.co.jp

<http://www.atstream.co.jp/profit/index.html>

Profit + の概念図・アウトプットイメージ

生産現場で収集している生産実績情報を「Profit +」に入力することにより「ロット別工程別原価計算」を簡易的に行うことができます。

概念図



「ロット別原価明細」アウトプットイメージ

品目コード	製造品名	ロットNo	完成品 出来高数量	実際原価 (単価)	原料費 (単価)	包材費 (単価)	加工費 (単価)
1001	製品A	132001_1001	142,512	120.51	59.19	15.27	46.05
		131010_1001	91,536	124.07	58.51	14.98	50.58
		131030_1001	81,384	123.12	59.23	15.01	48.88
		131226_1001	128,280	119.71	58.45	15.09	46.17
1002	製品B	131001_1003	25,200	145.07	54.60	15.10	75.38
		131015_1003	20,664	191.43	63.90	15.13	112.39
		131216_1003	16,680	182.22	52.26	15.00	114.97
		131223_1003	30,528	129.47	53.45	15.13	60.89
		131228_1003	34,128	127.44	54.21	15.08	58.15
2001	中間工程品A	131002_2001	188,112	99.61	59.52	14.91	25.18
		131017_2001	141,312	98.13	55.22	14.85	28.10
		131108_2001	96,120	106.73	54.00	15.00	37.73
		131217_2001	58,128	135.37	60.00	15.00	60.37
		131227_2001	141,144	98.18	55.22	14.85	28.10

ピボットテーブルのため、品目コードや製造日付等の様々な軸で並べ替えが可能

加工費については、加工費シートで工程別にブレイクダウン可能

「製品別採算管理表」アウトプットイメージ

製品コード	製品名	顧客	標準売価	標準原価		標準原価計	見積粗利率	実際売価	実際原価		実際原価計	実際粗利率	実際売上高	実際粗利額
				原料費	加工費				原料費	加工費				
1001	製品A	甲社	227.93	80.01	77.35	157.36	31.0%	227.93	78.58	45.23	123.81	45.7%	122,242,906	55,844,019
1002	製品B	乙社	236.40	101.32	77.35	178.67	24.4%	236.40	101.73	45.20	146.93	37.8%	9,836,362	3,722,685
1003	製品C	甲社	189.56	79.59	77.35	156.94	17.2%	189.56	78.81	43.23	122.04	35.6%	103,535,725	36,882,264
1004	製品D	丙社	180.92	79.89	77.35	157.24	13.1%	180.92	79.96	54.46	134.42	25.7%	69,119,805	17,765,194
1005	製品E	乙社	179.48	103.96	77.35	181.31	-1.0%	179.48	101.92	40.00	141.92	20.9%	8,199,391	1,716,091
1006	製品F	丁社	231.38	82.02	77.35	159.37	31.1%	231.38	77.23	109.43	186.66	19.3%	10,655,453	2,059,492
1007	製品G	甲社	178.93	81.81	77.35	159.16	11.0%	178.93	79.55	73.99	153.54	14.2%	22,981,651	3,261,252
1008	製品H	乙社	199.22	83.95	69.68	153.63	22.9%	199.22	83.93	94.39	178.32	10.5%	180,384,684	18,920,114
1009	製品I	甲社	200.31	95.86	69.68	165.54	17.4%	200.31	96.61	107.11	203.72	-1.7%	24,777,226	-422,512
1010	製品J	甲社	237.15	81.69	77.35	159.04	32.9%	237.15	96.67	182.18	278.85	-17.6%	7,594,733	-1,335,660
1011	製品K	乙社	199.74	96.70	69.68	166.38	16.7%	199.74	98.95	151.20	250.16	-25.2%	27,636,531	-6,975,894
1012	製品L	甲社	231.38	83.04	69.68	152.72	34.0%	231.38	90.26	225.94	316.21	-36.7%	7,815,730	-2,865,388
1013	製品M	甲社	189.26	93.99	77.35	171.34	9.5%	189.26	97.41	162.39	259.80	-37.3%	7,525,912	-2,804,869
1014	製品N	甲社	222.82	90.55	69.68	160.23	28.1%	222.82	87.27	226.84	314.11	-41.0%	22,230,751	-9,108,515
1015	製品O	甲社	184.78	87.33	77.35	164.68	10.9%	184.78	91.92	194.95	286.87	-55.2%	5,489,235	-3,032,664
1016	製品P	丙社	185.33	92.19	77.35	169.54	8.5%	185.33	98.70	203.23	301.93	-62.9%	5,813,816	-3,657,745
1017	製品Q	乙社	232.12	73.29	69.68	142.97	38.4%	232.12	73.03	316.08	389.12	-67.6%	4,590,994	-3,105,123
1018	製品R	丙社	206.37	106.67	69.68	176.35	14.5%	206.37	123.53	513.31	636.84	-208.6%	6,095,708	-12,715,283

Profit + 原価計算方法（各シートの作成方法）

■原価計算表

- 1) A～R列に生産実績データを転記する
 - － **必須！！** 必ず、完成品ロットNoの順にソートすること。
(そうしないと、AA列の計算式がうまく機能しない。)
 - － **必須！！** 必ず、ロットNoはユニークであること。
(日付や品目コードなどを組み合わせて、ユニークになるように工夫すること。)
 - － **任意** O列～R列（正味投入量、ロス量、投入量端数、その他投入量）は必須項目ではないが、入れておくと、歩留や不良の分析が容易になる
- 2) S列～AZ列は自動計算である。行数に合わせて計算式をコピー&ペーストすればよい。

■単価マスタ

- － 4_原料、5_包材、6_購入品の3つは、例示してある通りにマスタを作成する。
- － A列・B列・E列さえ埋まっていれば問題ない。
- － 品目属性は、1_製品、2_半製品、3_仕掛品、4_原料、5_包材、6_購入品の6つ。
- － 1_製品、2_半製品、3_仕掛品の3つは、原価計算して単価を算出するため、単価マスタで単価を設定しても無意味（参照されない）である。

■チャージレートマスタ

- － 工程の数だけ、チャージレートを算定し、マスタを作成しておく。B列とC列さえ埋まっていれば問題ない。

■途中経過ロット原価集計 / ■加工費集計

- － 一切触れてはいけないシート。
但し、<原価計算表>の行が10000行超えた場合は、ピボットテーブルの集計範囲を修正する必要あり。

■日報_XXX

- － 時間情報を日報などから転記する。
- － E列とH列さえ埋まっていればよい。
- － 全ての工程の日報シートを作成する。
- － 1ロットにつき1行でないとダメ。1ロットにつき2行以上の時間情報がある場合は、別のピボットテーブルで集計するなどの工夫&加工が必要

【工程名の設定について】

工程名を設定した際、「加工費閲覧用」シートの4行目とO列～R列の計算式、「チャージレートマスタ」シートのB列、「加工費集計」シートの4行目とM列～P列の計算式、「日報_XXX」シートのシート名をすべて更新する。（数式でつながらなくなってしまうため注意）

【原価計算ロジックを回す方法】

「ピボットテーブルの更新」を積み上げ計算の回数+1回以上行う。（このモデルケースファイルでは4回以上）<原価計算表>と<途中経過ロット原価集計>のシートを循環計算させている。そのため、1回更新するごとに、1階層分の計算が完了する。そのため、データを修正した場合も、3回以上「更新」をする必要がある。

【製品別採算管理表の作成方法（別ファイル）】

「実際原価閲覧用」シートのレポートフィルタの「完成品属性」を「1_製品」にして、全製品の実際原価を表示させる。
別途用意してある「原価計算_採算管理表」ファイルに、上記で表示させた情報を値貼り付けでコピー&ペーストする。
更に、労務費比率、経費比率が分かっている場合は、「コピー用シート」に値貼り付けする。
ピボットテーブルの「更新」を行って、データ更新をする。
「採算管理表（閲覧用）」の白色のセルは、別の情報源から直接入力する。

Profit + 活用方法

【ロット別原価のブレを探し、ブレの原因分析を行う】

「実際原価閲覧用」シートをまず眺める

基本的には、同じ製品なのにロットによって原価が大きくブレているものを探す

金額がN/Aとなっているデータは、対象期間外に製造した仕掛品ロットや半製品ロットを使用したために、原価が集計できなかったことを意味する。

ブレている原因を調査する

内訳を見てさらに確認する。

値をダブルクリックすると内訳が分かるシートが出現する。

(必要なシートならシートの名前を変更し、見るだけならすぐ削除するのがおススメ)

内訳が仕掛品や半製品である場合は、「実際原価閲覧用」シートに戻り、その仕掛品や半製品を「製品コード&ロット」で探し出し、再度ダブルクリックしてさらに内訳をみるができる。

内訳をみて原因を考える（歩留ロスの確認）

投入数量にはその内訳（正味、ロス、端数、その他）が書いてある。正味以外の数量が多い場合は、それが歩留ロスになり、原価が上昇する要因になる。

原因が分からなければ、更に下階層の仕掛品の内訳を確認する必要がある。

加工費を工程別にドリルダウンして確認する（能率ロスの確認）

一般論として、生産数量が他のロットより少ないと、加工費等が上がりやすい傾向がある。

加工費が他のロットより多いということが分かった場合、どの工程の作業時間が長かったのか、

「加工費閲覧用」シートで原価用バッチやロットをキーにして検索する。

同製品の他のロットと比較し、どの工程の時間が長かったのかを確認する。

下階層の仕掛品でも加工費が発生しているため、必要に応じて、下階層の仕掛品の加工費も同じように確認する。

その他

稼働率によるロスについて

稼働率が低かったことによるロスは、このシートでは判断が難しい。

稼働率が低かった場合、チャージレートが高く算定されるはずなので、工程毎の標準チャージレート（計画時の稼働率に基づくチャージレート）をチャージレートマスタに入力し直して再計算し、実際チャージレートベースの原価計算結果と比較することで稼働率による差異（ロス）を把握することができる。

【製品別の採算性の確認方法】

別ファイルの「製品別採算性確認」ファイルを使う

「採算管理表（閲覧用）」シートで、製品別の見積粗利率と実際粗利率を比較することができる。

また、簡易的にはあるが、客先（主要な）も入力すれば、客先別の採算も見るができる。

(厳密に算定するときは別途集計作業が必要)

また、展開表示させると、実際原価の内訳（材料費、包材費、購入品費、労務費、経費）を確認することができる。

(注意点)

計算シートの実際粗利額合計と財務会計数値の売上総利益は一致しない。

Profit + 使用許諾

- 1.(株)アットストリームの許可を得ることなく、本ソフトウェアのすべてまたは一部を販売、レンタル、リースすることは出来ません。
- 2.(株)アットストリームは、本ソフトウェアのサポート、及び不備について修正を行う義務あるいはその他損害賠償を含む一切の責任を負いません。また、本ソフトウェアに関して一切の動作保証、性能、保証を致しません。
- 3.(株)アットストリームは、本ソフトウェアの使用、複製、ならびに配布により生じた損害、または第三者に直接または間接的に生じた損害についても、いかなる責任も負わないものとし、一切の保証、賠償を行わないものとします。

使用許諾に関するお問合せ先 : info@atstream.co.jp

Profit + 更新履歴

2015.01.28 Profit + Ver1.0 提供開始。